

「パンデミックと社会に関する連絡会議」の設置の背景と趣旨

COVID-19を巡る状況

- ワクチン接種が進む中、感染克服に期待が集まっているが、未だに終息の目処は立っていない
- 一方で、COVID-19の世界的流行は、**現代社会が内包する問題点とポテンシャルを顕在化**
- 特に、我が国においては、社会、学術の様々な問題点が露呈

日本学術会議では、多くの委員会、分科会がCOVID-19に関して議論し、情報発信してきた

- **大規模感染症予防・制圧体制検討分科会**の設置（2020年2月）
- 緊急課題を集中して検討するため**コロナ対応ワーキンググループ**を設置（2021年1月）
- 声明（2）、会長談話（1）、提言（2）、Gサイエンス共同声明（2）、サイエンス20共同声明（1）
- 日本学術会議内での審議状況の共有や情報発信の促進（学術フォーラムのシリーズ化、「学術の動向」特集号の企画、**COVID-19特設ページ**に情報を集約等）を実施
- **学術フォーラム、公開シンポジウム**など2020年6月～2021年7月までに31回開催

学術の諸科学の専門知を効果的に連携し、総合的、俯瞰的な検討を進めることは日本学術会議の役割

- 現在のCOVID-19感染への対応に加えて、中長期的な視点で**with/postコロナにおける医療体制や社会の在り方について議論**を深め、政府や社会に貢献する
- その際、人文・社会科学、生命科学、理学・工学の各分野の科学者による**横断的な審議**が必要
- 緊急時だけでなく平時における社会や学術の問題点を点検・議論し、パンデミックに耐えられるレジリエントな社会制度を構築するための検討が不可欠

COVID-19 に関連する審議等を行っている(関心を有する)委員会、分科会等の代表者からなる「連絡会議」を設置します

「連絡会議」の設置により、COVID-19に関連する委員会、分科会等の連絡を図り、効果的な審議と分野横断的な議論を促進します。現在のCOVID-19への対応の検討とともに「パンデミックに耐えられるレジリエントな社会」を視野に入れた議論も展開します。

◎連絡会議における当面の審議事項(案)

- ① 大規模感染症(パンデミック)、特に新型コロナウイルス感染症に関する課題抽出
- ② 抽出された課題についての部をまたぐ横断的審議の促進(審議体制の提案)
- ③ 学術会議からの適切な情報発信、シンポジウム企画、関連する学協会との連携、国際協力に関すること

◎審議課題の例

- 緊急時を含む臨床研究のあり方
- ワクチンを含む治療薬開発のあり方
- 緊急時を含む臨床データ収集のシステム
- デジタル医療
- コロナ禍で起こっている分断と格差

今後開催する
新型コロナウイルス感染症
関連公開講演会
(http://www.scj.go.jp/about_covid19.html)

日本学術会議 公開シンポジウム
ポストコロナ社会を見据えた
睡眠・生活リズムのあり方
～コロナ自粛から学ぶ～
令和3年
8月28日(日)
13:30 ▶ 16:00
オンライン開催
開催の詳細については
お知らせいたします
ご確認ください

PROGRAM (予定) 三島和夫(日本学術会議議長)・松田大(東京大学)・山田(京都大学)・山田(京都大学)・山田(京都大学)

13:30 開会の挨拶
三島和夫(日本学術会議議長)・松田大(東京大学)・山田(京都大学)・山田(京都大学)

講演
14:00 リモート社会と体のリズム
本家と(日本学術会議議長)・山田(京都大学)・山田(京都大学)

14:05 育児を対象とする双方向性睡眠導入アプリの社会実装の経験から
山田(京都大学)・山田(京都大学)

14:30 一般生活者の生活リズムの寛容について
山田(京都大学)・山田(京都大学)

14:55 休憩(10分)

15:05 働き方に及ぼした光と影について
山田(京都大学)・山田(京都大学)

指定発表
15:30 社会における睡眠・生活リズムの変化に対し睡眠医療が果たすべき役割
山田(京都大学)・山田(京都大学)

まとめ
15:40 シンポジウムの総括
三島和夫(日本学術会議議長)・松田大(東京大学)・山田(京都大学)・山田(京都大学)

15:50 閉会の挨拶
松田大(東京大学)・山田(京都大学)・山田(京都大学)

お問い合わせ先: 広報・メディア課 | 〒100-8916 東京都千代田区千代田1-1-1
E-mail: kokoro@scj.go.jp, media@scj.go.jp

主催: 日本学術会議(会長:三島和夫) | 協賛: 文部科学省 | 協賛: 文部科学省 | 協賛: 文部科学省

事前質問はこちら

公開シンポジウム
コロナ禍におけるトリアージの問題
——世界の事例から日本を考察する

＜プログラム＞
司会 吉川和哉(日本学術会議連席委員、山梨大学名誉教授)
13:30 開会挨拶 土井健司(日本学術会議連席委員、関西学院大学医学部教授)

13:40 コロナ トリアージをめぐるイタリヤとドイツ
加藤孝史(日本学術会議連席委員、横浜国立大学国際コミュニケーション学部教授)

14:10 COVID-19下の医療逼迫時におけるトリアージと患者の人性:
イギリス、フランスおよび欧州人権機関の対応
野石真弓(日本学術会議連席委員、滋賀大学医学部教授)

14:40 台湾における集中治療のトリアージについて
羅淑祥(大谷大学東京国際研究開発センター研究員)

15:10 COVID-19パンデミックにおける
「トリアージ」をめぐる日本の議論
竹下啓(東京大学医学部教授)

15:50 質疑・討論
16:50 閉会挨拶 田原まづみ(日本学術会議連席委員、立正大学文学部教授)

2021年8月29日(日) 13:30-17:00
オンライン開催 参加費無料
申込: <https://forms.gle/canF2R7B4224G54J7>
定員: 100名(先着順)となります。

主催: 日本学術会議(会長:三島和夫)と共催する
共催: 日本学術会議(会長:三島和夫)と共催する
文部科学省(文部科学大臣:菅義偉) | 文部科学省(文部科学大臣:菅義偉) | 文部科学省(文部科学大臣:菅義偉)

お問い合わせ先: 広報・メディア課 | 〒100-8916 東京都千代田区千代田1-1-1

02
新型コロナウイルス感染症
【新型コロナウィルス感染症の最新情報 - what is known and unknown #2】
新型コロナウイルス感染症の
臨床的課題、対策と今後の方向性
臨床的現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。
2021年9月18日(土) 13:30~16:45

新型コロナウイルス感染症の最新情報 - what is known and unknown #2
新型コロナウイルス感染症の臨床的課題、対策と今後の方向性
臨床的現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。
2021年9月18日(土) 13:30~16:45

新型コロナウイルス感染症の最新情報 - what is known and unknown #2
新型コロナウイルス感染症の臨床的課題、対策と今後の方向性
臨床的現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。
2021年9月18日(土) 13:30~16:45

新型コロナウイルス感染症の最新情報 - what is known and unknown #2
新型コロナウイルス感染症の臨床的課題、対策と今後の方向性
臨床的現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。
2021年9月18日(土) 13:30~16:45